

## リモテラストークセッションの開催結果について

### 1 開催目的

リモテラス公益施設整備基本計画策定にあたり委員会以外の意見を募集するため開催。リモテラスについて市民に知ってもらい、講師の話聞き、皆と意見を共有することにより「場」に対しての考え方に刺激を与え、より効果的な意見を集める。また、リモテラス公益施設整備後の運営を担う人材の発掘も合わせて行う。

### 2 開催日時・場所

平成27年11月21日(土) 午後2時から午後4時まで  
西小校区共生ステーション

### 3 参加者数

66名(一般参加者45名 スタッフ・講師等21名)

### 4 トークセッション概要

#### (1) 市長あいさつ

これから始まるリモテラス公益施設整備については、計画が先行する今までの行政のやり方から、計画策定時から市民のみなさんに関わってもらい進めていきたい。

#### (2) 宇田川氏講演

(事例紹介を交えながら、自身の「場」づくりについて考えを紹介)

- ・「場」とは、経験・体験を共有するところ。その共有によって、「関係」が生まれる。どんな経験・体験でどんな関係になっていくのかを意識して「場」づくりをしている。
- ・企業は収益性を追求、個人は幸福を追求していたが、社会の「公益」に企業も個人も貢献していくことに意義を見出すようになった。そういった「公益」に貢献する人や、社会について考える人が増えれば増えるほど社会は良くなっていく。社会の「公益」につながっていくような「場」づくりをしている。
- ・結果を想定して「場」づくりを行うとつまらないものになる。「場」を使う人たちからなるべくたくさんの意見を聞きだし、その意見を基に「場」をデザイン(組立て)していく。

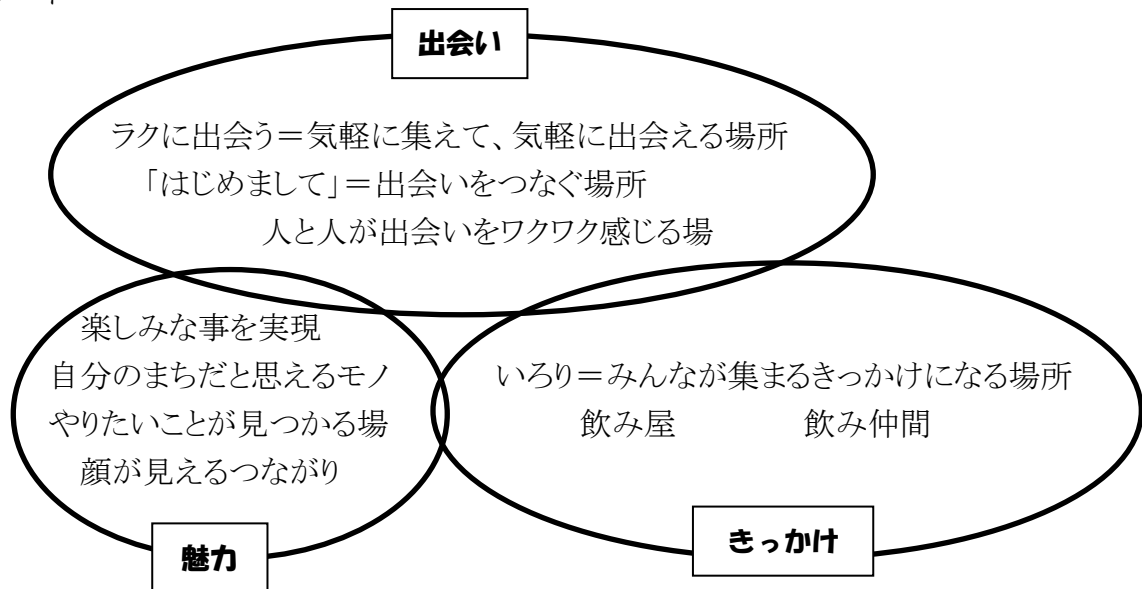
#### (3) PEN ターン女子講演

(被災地に移住した経緯と、活動を紹介)

- ・圧倒的な当事者意識を持ったある漁師と出会い、移住を決意した。「明日出会う人が、自分の人生を変えてしまうかもしれない」。
- ・顔の見える関係の重要性
- ・移住者と地元の人とが分け隔てなく話し合う「場」を通して、アクションが生まれた。移住者だけ、地元の人だけではアクションが生まれなかった。別の価値観の共有によって新しい視点が生まれた。



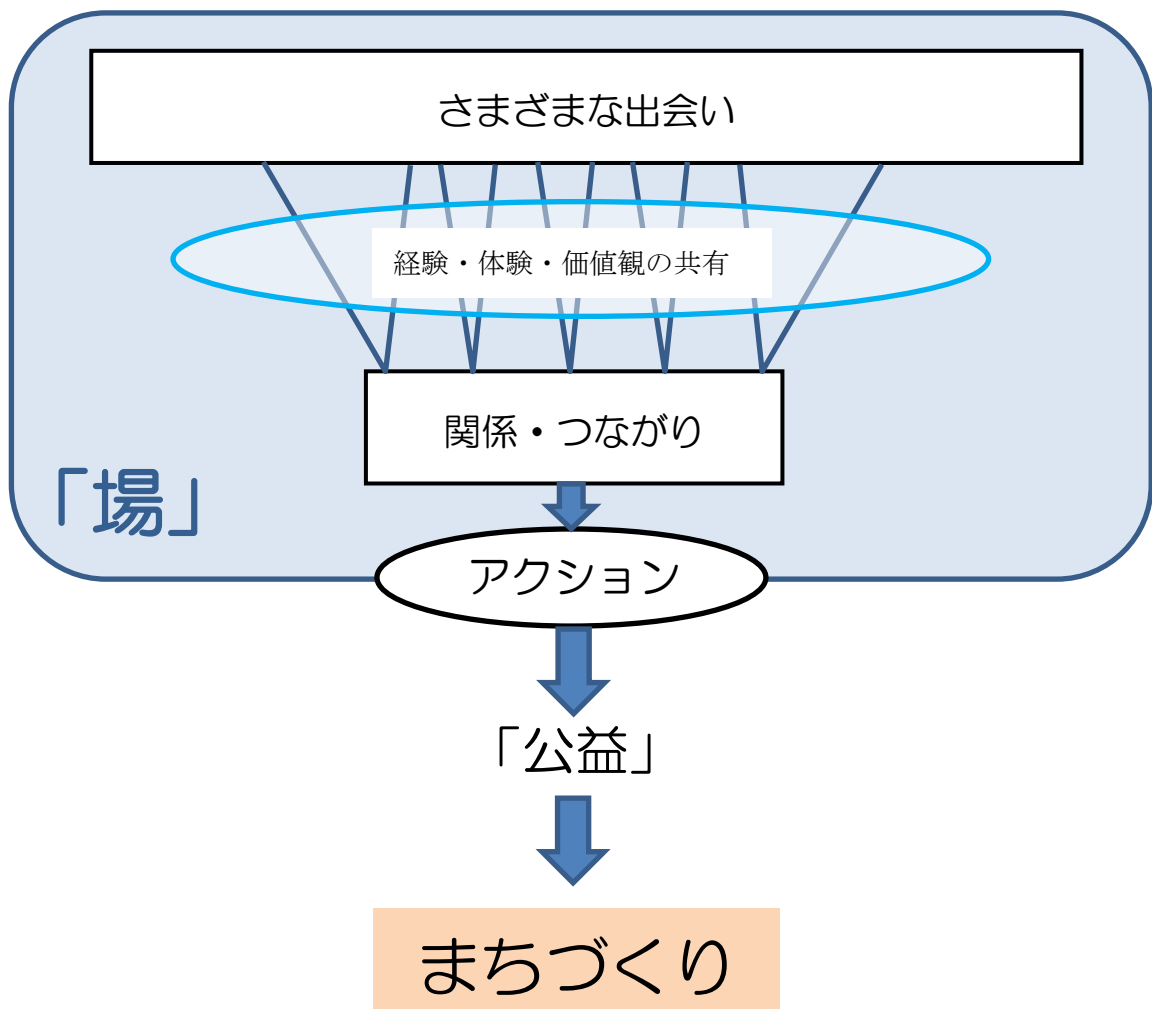
## 5 キーワード



## 6 アンケート(回答総数38件)

- ・そこに行くと人との出会いがあり、繋がりや交流が生まれる「場」
- ・誰でも気軽に楽しみ、気楽に行ける「場」
- ・隣接する古戦場と連携し、お互いが活かせる「場」

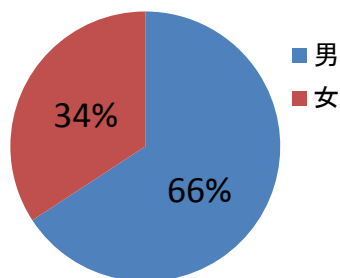
## 7 まとめ



## アンケート詳細

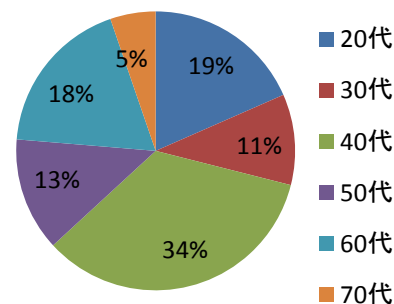
### (1) 男女比

男性 25人  
女性 13人



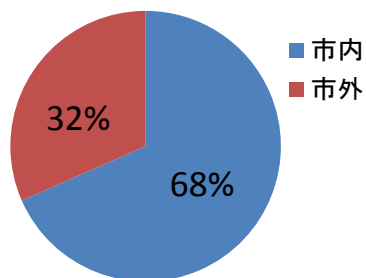
### (2) 年齢

20代 7人  
30代 4人  
40代 13人  
50代 5人  
60代 7人  
70代 2人



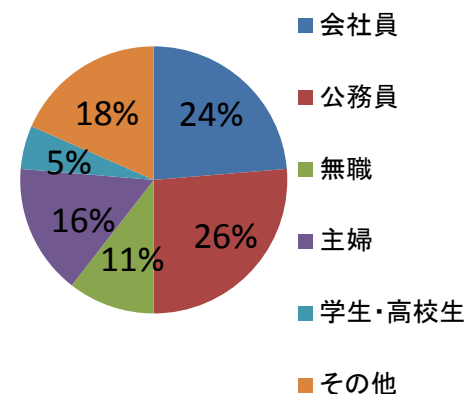
### (3) 住まい

市内 26人  
市外 12人



### (4) 職業

会社員 9人  
公務員 10人  
無職 4人  
主婦 6人  
学生・高校生 2人  
その他 7人



### (5) 本日のトークセッションを聞いて、どう感じましたか。

感想	内容
	様々な経験を持つ方々の話を聞いて勉強になった。
	宇田川さんの話は分かりやすかった。
	積極的に活動しているPEN ターン女子は本当に素晴らしい
	人はさみしいんだ。元気になりたいんだ。人は人の中が一番いいんだ
	市内で若い人たちがいろいろ活動していることが分かった。PEN ターン女子のみなさん寒さに負けず頑張ってる。
	宇田川さんの話で、同じ体験、時間の積み重ねが繋がりを生む。まさにそうだと感じました
	今後の参考になるようなことが聞いた
	違う環境にいても、人と人のつながりに対する想いの根底は似ていると思った。また、色々な方の意見を聞きたい
	色々な方からお話を聞いたので次は実際に利用する方からの意見を聞く場を設けると良いのでは
	素晴らしいゲストの話だった。市民代表6人に偏りがあった。もう少し減らして最後のトークセッションの時間を多くして欲しかった。
	若い人の想い、力が形になるのが楽しみ
	とても良い構成、企画だった。このようなセッションで回数を重ね、近いうちに文化の家ホールで800人規模で実現して欲しい
	顔の見える関係からつながりがうまれることに共感しました
	経験の共有が関係性をつくる、ということを大切にしたいと思った
	色々な想いのある方がいそうなので、市民参加の機会をたくさん作って欲しい

まちづくり全般	地域の人々がまちづくりに積極的に関わり、自発的に考え、参加して楽しむことが魅力的なまちづくりにつながる。
	実践して想いのできる仕組みが重要と感じた
	若い力が大きな原動力に。長久手は大学生が多いからもっともっと。
	新たな出会いから始まるのがたくさんあるのだと感じた。特に学生や若い社会人世帯が流動的な長久手市ではそれを活かしたまちづくりがとても有益であるように思った。
	まちを楽しくて魅力的な場にするためには実にさまざまな方法があり、自分が楽しむために始めようとするのもまちづくりにつながると希望が持てた
	子育て支援とい中で子供の活動の支援をすることで将来へつながるまちづくりができるのでは
場	場との出会いから自らが場づくりを実践していく。受け身の場でなく能動的な場とする。自分の居場所を作るのも活動の中から生まれてくる。活動の中から居場所がみつかる。
	ビジョンを描きながら場づくりする！
	多様な人が出会えるきっかけをつくる場
	堅苦しくなく気楽に集まれる場が良い
	「場があって人が来るのではなく、人が集まって場ができる」という言葉にグッときた。まず建物作って、さあ何しよう？ではなくてその場でどんなことをしたいか、体験したい、してもらいたいかを考えて場をつくるのが大切だと思った。
	やさしさの循環できる場づくりができたらいい。単なる消費ではなく誰かを幸せにするためにお金を払う、そういう仕組みを作っていきたい
	場に人が集まる＝人が集まって場になる
リコモテラス	長久手市にとってリコモテラス活用は人の絆づくりか、イメージづくりか目的が不明
	新しいこと、楽しいことをやりたいときにリコモテラスに行けばできる場
	リコモテラスがつながる、つづける、つくりだす場だと良いと思う。長久手が好きと思う人が増えれば、来てもらった人、隣の人にもやさしくなれる、良いところを紹介したいと思う。長久手を好きという想いをどう創るか、どんな体験だとそう思えるか

(6) あなたはリニモテラスに何を期待しますか。

つながり・交流・出会い	交流サークルの拠点
	交流の場
	自分(個)を社会につなげていく場
	お役にたてる人をつなげる場の提供
	出会い、共有できる場
	新鮮な出会い
	長久手市に長く住んでいる人もそうでない人も学生も社会人も高齢者も共に活動ができる場に
	出会いの場、スタートの場とするなら色々な切り口のあるバラエティに富んだ人々の場にして欲しい。出来上がったからおしまいではなく、成長する場、変化に対応できる施設として欲しい。ソフトの充実なしに完成はなし、常に未完成で可能性を持った場に。
	同じ体験、時間を過ごせるような仕組み。楽に人と出会えるそんな場所が良いと思う。
	顔の見えるつながり
日頃からのつながり	
大学連携	リニモ沿線大学生の集いの場
	学生のまちとして、SCCC を是非(近隣含め 12 大学)
観光	観光スポット
	イベントの場(桜まつり等)
	イベント(WS)会場
	賑わいの場
子育て	学童や保育施設(子育て支援)
	子どもが(大人も)自由に創造できる場
古戦場	古戦場の歴史が分かりやすい紹介コーナーの設置
	古戦場公園とのすみ分け(役割分担)をしつつ、連携しながらゆるく楽しいわくわくする場として欲しい。
	古戦場も活かせる、長久手の資源である人を最大限に活かせる場になってほしい
	古戦場とのつながり
	郷土史の研究とのつながり、入り口として
	日本一の火縄銃保有
誰でも・気軽に	みんなが楽しめる場
	交流の場にこだわらず、なんの目的もなく気楽に楽しめる「場」
	「気楽に」「ついでに」でも「わざわざ」でも誰もが行ってみたいくなる場になると良い
	若い世代(現役世代、学生など)が暇なときに立ち寄っただけでもわくわくできる場になってほしい

誰でも・気軽に	いつでもだれでも気軽に立ち寄れる場
	なんとなく立ち寄れる場
	オープンスペース、開かれた場であること
	高齢者から幼児まで健常者からハンディキャッパーまで集まりあう場に
その他	市民から愛される場
	中尾真也さんの話を聞いたらリモテラスは必要ないと思う
	木のぬくもり
	市民参加できる場
	緑がたくさん
	常に作り続けていける未完成な場
	場という言葉を身近に感じました。リモテラスに素敵な場を期待します
	フューチャーセンター ・充実した会議室(防音、壁面 WB) ・アルコール可能な場所 ・1day シェフが活躍できる厨房 ・まちづくり団体の情報が集まり相談できる場 ・健康寿命を延伸するための施設(例えばタニタ食堂、体組成計測器)
	長久手のシンボルコアをここに
	シニア、子どもを活かす場
	集まった人たちの手で愛着を持ってどんどん変わっていける場(ソフト、ハード共に)
	変わらないコア
	どの自治体も世代の継承に悩んでいる。リモテラスが活動、まちづくりの人、世代の継承の場になりそう。戻ってこれる場所を創るには受け入れる施設も大切。
	場の豊かなイメージが出ました。形がない形をリモテラスには求められていると思った。どう形にしていくのか、リモテラスへの期待は大きい